

# 総務省今林政策統括官(情報通信担当)が「地域活性化とI・O・T」を語る



【特別講演：今林顯一政策統括官】

総務省北陸総合通信局（局長 吉武 久）は、北陸経済連合会（会長 久和 進）、北陸情報通信協議会（会長 久和 進）とともに、平成29年4月19日（水）、金沢東急ホテルにおいて、総務省の今林 顯一政策統括官を迎えて「地域活性化とI・O・T」をテーマに講演を行いました。本講演は、北陸情報通信協議会定期総会に先立ち特別講演として開催したもので、北陸経済連合会会員71名を含め北陸情報通信協議会会員他約200名が参加しました。

地域I・O・T実装タスクフォース所管部門のトップである今林顯一政策統括官は、昨年12月にとりまとめられた「地域I・O・T実装推進ロードマップ」及び「ロードマップの実現に向けた第一次提言」を紹介するとともに、I・O・T、ビッグデータ、AI等のICT（情報通信技術）の社会での利活用を推進していく上で地域において求められる取組について語りました。

I・O・Tを活用した全国の先進事例として、テレワークの導入により定住を促進し人口増となった徳島県神山町や、資源保全を踏まえナマコ漁にリソース・シェアリング（情報と資源の共有）を活用した北海道留萌市の取組などを動画を交えて紹介するとともに、今後の北陸地域におけるI・O・T実装推進による地域活性化、地域資源の活用の取組に対する協力を呼びかけました。



【特別講演の様様】